

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	業務が特定の職員に集中しており負担が大きくなってきている。 ・「できない」→「任せられない」→「成長できない」の悪循環がある。	各職員が担当できる業務が増えてやりがいを持って仕事に向き合うことができる。経験を積むことで誰でもできるようになり、後任の育成に繋げることができる。※教えることも勉強 一緒に目標を達成することで、意識の統一を図ることができる。	担当業務を整備し、まずは興味がある内容から各職員に選んでもらい実際に取り組んでみる。取り組み状況をユニットリーダー中心に確認していく。担当した業務ができるようになったら、次の業務に挑戦。 ユニットで達成可能な目標を設定して取り組みユニット会議毎に達成度を評価し続ける。達成した時には賞賛して次の目標を設定する。	毎月
2	12	職員の高齢化がある。	・環境や仕組みを整備することで、末永く、働ける職場になる。	・リハビリテーション活動支援事業にて専門的な観点から助言をいただく。 介護用品の活用して職員・ご入居者双方にとって負担の少ない介助方法を身に付ける。 ・面談を行い希望を聴きながら必要に応じて契約内容、勤務時間の見直しを検討。	適宜
3	60	コロナ感染症の影響で希望に沿っての外出がしにくくなっている。希望通りとは言えないのが現状。1人でも感染者が発生すると、ユニット全体が感染するリスクが大きい。(認知症が影響して隔離が困難)	ご入居者、ご家族の希望に沿って外出ができる。	緩和策を模索する。 ①世間の感染状況に応じて中止、緩和の切り替えを行う。 ②ご家族の要望をお聴きしながら、意見の多かつた内容について協議する。	12ヶ月
4	4	運営推進会議へのご入居者の参加が出来ていない。	ご入居者が運営推進会議に参加でき、会議の場で利用者目線での意見がいただける。	ご入居者の状況に応じて、短時間でも参加いただけるのであれば協力依頼してみる。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。